

可部地区社会福祉協議会だより

135号

編集発行  
可部地区社会福祉協議会  
広報部会

印刷所 可部印刷(株)

# 福祉 あけぼの

## 次世代の可部を見据えて 可部地区社会福祉協議会 設立50周年

令和5年(2023)10月1日(日)、

可部地区社会福祉協議会の設立50周年記念式典が行われました。

可部地区社協は、地域、行政機関と連携し、「福祉のまちづくり」に取り組み、

この50年の可部のまちの変貌を見つめ、歩んできました。

これまで社協活動にご尽力いただいた地域の諸先輩方の功績に敬意を表し、

また、さまざまにご協力いただいていた地域の皆さんへの感謝とともに、

新たな50年に向かって一歩を踏み出します。

50周年式典に、祝賀演奏で参加していただいた可部中学校吹奏楽部の皆さん。初々しい演奏に、式典参加者からは惜しめない拍手が送られました。未来の可部を担ってゆく若い世代の躍進を感じさせ、式典にふさわしいひとときとなりました。



# 可部地区社協 50歳

可部地区社協。設立は昭和48年(1973)10月21日。令和5年(2023)で、50歳を迎えました。この数年コロナ禍で、多くの事業、会議等が中止や延期を余儀なくされる中、無事に50周年式典を執り行えるのが、式典実行委員会の最大の懸念でした。幸い5月にコロナが感染症の5類扱いに変更、式典の準備が急ピッチで始まったのです。現地区社協の役員、関係者が会議を重ね、準備に奔走しました。

そして迎えた10月1日。区役所、広島市社会福祉協議会、公民館、三入可部地域包括支援センター、可部小学校校長、可部中学校校長、地域の議員の皆さん等多くの来賓、地域を代表する町内会・自治会の会長、各種団体長、民生委員児童委員、福祉委員の皆さんが一堂に会しました。



記念講演を引き受けていただいたのは、広島市社会福祉協議会事務局長の三村誠司さん。三村さんは、平成26年の8月20日広島土砂災害時に、安佐北区社会福祉協議会議会の局長を務められており、土砂災害復旧のためにボランティアセンターを立ち上げ、運営。連日何百人ものボランティアさんに対応するボランティアセンターの要として働かれました。記念講演ではその時の体験を踏まえ、地域の連携の大切さを語られました。

この50年は、進む高齢化、少子化、多発する自然災害、異常気象、急速に進化するデジタル社会と、誰もが予想もしなかった激動の50年だったのでないでしょうか。そのような中で、地方の一地区社協がずっとがんばってこれたことは、まさに可部の住民の底力があればこそ。ありがとうございました。

## 地区社会福祉協議会 50周年記念式典



可部地区社会福祉協議会会長 増井航一さん。



50周年記念式典実行委員会の皆さん

## 行ってみよう! 地元のサロン

### 第7回 えびすいきいきサロン会

えびすいきいきサロン会は、平成30(2018)年8月に、旧国道沿いの7町内会(1丁目、2丁目、慶安、森の下、上飯屋、吹屋、川原)で結成されました。町内会の皆さんが、健康でいきいきとした暮らしをするには、いくつになっても健康な体力や近隣同士のコミュニケーションが必要です。集えるサロン会や場所が必要という要望で、身近な可部学区集会所ホールを活用することが決まり、毎週月曜日午前9時から10時まで①いきいき100歳体操 ②カベノピクス ③かみかみ体操の3本の動画を見ながら元気よくがんばっています。

発足時には25名集まりましたが、5年余りで亡くなられたり施設等に入居されたりして、今の参加者は約17名(女性10名・男性7名)。平均年齢は82歳前後です。始まる前には雑談等を楽しんでいます。

コロナ禍の約4年余りの間には、体操や研修会等が度々中止になり、たいへん寂しい思いをしました。昨年コロナ5類の移行に伴って再開したときには、皆さんの元気な姿を見て感無量でした。

令和5年8月21日には、サロン会の5周年記念行事を、発足時にお世話になった安佐北区社会福祉協議会、広島市三入可部包括支援センター、白寿の会会長をお招きし、盛大に開催することもできました。

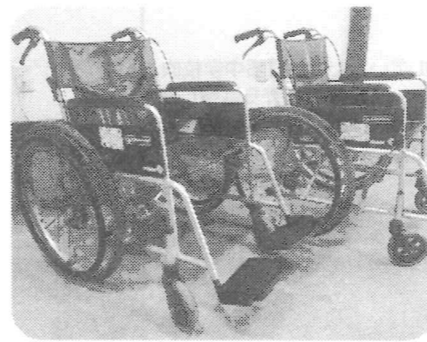
これからも、たくさんの方に参加していただき、体力測定や興味ある研修会、施設見学会、食事会などを開催し、皆さんがこの会に参加し、この街に住んでよかったですと思われるサロン会にしていきたいと思ひます。

ホール会場では、開始20分前ごろから雑談しながら楽しく待ってられます。



## ● 車椅子を貸し出しています ●

可部地区社協では、可部小学校区居住の方を対象に、無料の車椅子の貸し出しサービスを行っています。



貸出期間は2ヶ月。更新すれば最大6ヶ月の貸し出しが可能です。一時的なけがや、高齢者の外出などに、お気軽にご利用ください。

### お問い合わせ

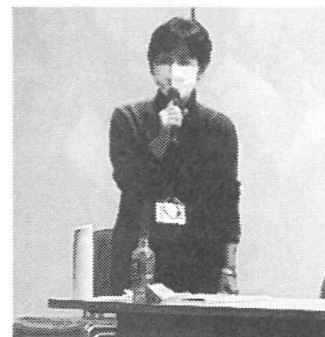
●可部地区社会福祉協議会  
ボランティアバンクいんいん可部  
受付はいんいん可部まで  
☎(082)847-5509

●可笑屋  
いんいん可部受付時以外  
(可笑屋定休日除く)  
☎(082)847-5508

## ひまわりの会に代えて 記念品の贈呈

ここ数年コロナ禍で「ひとり暮らし高齢者の会」ひまわりの会が開催できなくなり、お菓子もたいへん喜ばず、代替案としてお菓子を渡しながら、ひとり暮らし高齢者を訪問する事業を行ってまいりました。本年度も11月に可部地区の70歳以上ひとり暮らし高齢者421人に、福祉委員、民生委員、町内会で、訪問しました。

## 「施設 何が違う?」 潤いのある「まち」研修会



三入可部地域包括支援センター所長の井田浩美さん。



11月29日、可部地区社協主催で、サロン主催者、関係者を対象に、研修会が行われました。三入可部地域包括支援センターの井田浩美センター長を招き、「施設といっても多種多様、何がどう違う?」と題した講演で、高齢者施設について具体的にその違いについて

## 新建自主防災会

### 地震を想定した防災訓練

令和6年2月18日午前9時より、新建自主防災会主催で、マグニチュード7の大地震が発生したとの想定で、防災訓練が行われました。まず「緊急連絡網」の電話伝達で、「一時避難場所」の新建ちびっこ広場へ避難。そこから団地で構築している「安否確認システム」により住民の皆さんから「安全確認情報」を発信してもらいます。このシステムは、「共助」として非常に役立つ、新建自慢のシステムで、この避難訓練に参加したのは、105世帯、134名。能登地震の後でもあり、関心の高さがうかがえます。

その後、安佐北消防署、可部消防団の協力で水消火の消火器訓練、煙体験A



心臓マッサージ体験

非難所に続々と集まる地域の皆さん

# ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。

可部に喜ばず高齢者や、障がいをお持ちの方、子育て真っ最中の方などを対象に、誰かの手がほしいな、ちょっと助けてほしいな、という時、頼りになる助っ人として駆けつけます。

植木の枝きり、草取り、不要品の処分のお手伝い、家具の移動、一般的なゴミ出し、窓ふき、電球の取り替え、などなど。どんなことでもまずはご相談ください。受付日時に、お電話、または可笑屋2階事務局まで、お気軽にお越しください。

**受付 毎週月曜日、火曜日、木曜日**  
月曜日 10:00~12:00  
火曜日・木曜日 10:00~12:00  
13:00~15:00  
祝日、盆休み、年末年始を除く

**りんりん可部事務局**  
☎ 082-847-5509  
FAX 082-815-0756  
住所 広島市安佐北区可部3丁目34-1  
可笑屋(かわらや)2階

## ボランティア募集のお知らせ

りんりん可部では、一緒にボランティアを  
になっていただける方を大募集。  
ボランティアは初めての方、大歓迎です。  
お問い合わせはりんりん可部まで、お気軽に！

## 編集委員のつぶやき

**黒田 正**

1月1日午後4時10分頃、能登半島珠洲市付近を震源とする最大震度7の大地震。直後の津波、火災、土砂災害、道路の寸断、停電、断水、家屋の倒壊。輪島の朝市が催される地域は火災で失われ、伝統の輪島塗の工房も家屋の倒壊に巻き込まれました。被災地や被災者の方々の1日も早い復興を願っています。

**香川和子**

元日から能登半島を中心とする地震に衝撃が走った2024年。暖かすぎる冬と小雨。川の水は少なく田植えの心配も。水の大切さとありがたさと怖さを痛切に感じる。災害が起こるたびに自助・共助と言われるが、自分のこととして考え備蓄し行動することの必要さを考える。災害がいつ起こるのか予測はできないが、無いとはいえないのだから、日頃からの準備と近隣の方とのコミュニケーションを考え、大切にしたいと思う。

**一川初子**

2月26日、総合福祉センター6階で講演会の時、グラグラと揺れました。「地震だ。」震度3でした。能登半島地震の7.6はどれくらいすごい揺れだったのか。1月1日、テレビから「命を守るため逃げてください、逃げてください。テレビは消さなくても逃げてください。」と叫ぶような声が、今も耳の奥に残っています。復興にはまだまだ時間がかかると思います。穏やかな日が来ることをお祈りしています。



救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでいる薬や、かかりつけ医院、持病の情報などを書いたシートを保管して迅速に対応してもらいための「救急医療情報キット」を配布しています。  
地域の福祉委員、可笑屋、増井書店で取り扱います。  
1組150円(ボトル、カード、ステッカー)です。キットをお持ちの方も、情報シートの書き換えをおすすめします。新しい用紙をお渡ししますので、地域の福祉委員にご連絡ください。

救急医療情報キット 配布中!

## 真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財をいただき、感謝を申し上げます。

(令和5年9月1日~令和6年2月29日現在)

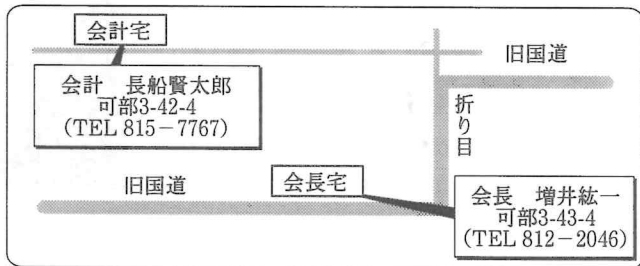
### 「ボランティアバンク寄付」

- 河野キミ枝 様 可部7丁目(城表)
- 藤井 周雄 様 可部1丁目(光善坊)
- 丸山 暁士 様 可部6丁目(温泉ヶ丘)

### 「一般の寄付」

- ナイスボーイ会 可部6丁目(緑ヶ丘2区)
- 山田 光宏 様 可部6丁目(緑ヶ丘2区)
- 池田 典子 様 可部6丁目(緑ヶ丘3区)

可部地区社協では、皆様からのご寄付を歓迎しております。寄付金は、可部地区社協会長宅にご持参、またはご連絡いただければお伺いいたします。よろしくお願いたします。



## 仁井美智子

急いでバス停に向かった私。バスを待っていると、寒さが身にしみ、いつも巻いているネックウォーマーを忘れていたことに気がきました。少しでも風を避けようと、横に立っておられた女性をすり抜け、奥側に立ちました。「ごめんなさい、寒くて。失礼しました。」すると女性は、「どうぞ、どうぞ。私は今朝、内科の診察を受け、これから帰るところですよ。」と言われた。初対面の方との対話でしたが、その方が90歳であること、食事はカロリーを計算し、食べ過ぎに気を付けていると言われ、私は、嘘でしょう!のひと言でした。私自身からだが老体化し、痛いところがあちこち。元気をいただけた90歳の女性に、ありがとうございますの1日の始まりでした。

## 田川貴志子

あけぼのは今号で135号です。可部地区社協50年ですから、発足当時は年間に3回以上の発行があったこととなります。当初の40号余りが散逸しているため、年2回になったのがいつごろからなのはおわかりませんが、あけぼの担当の諸先輩には頭が下がります。年2回発行なのでなかなか新しいニュースばかりとはいきませんが、編集チーム一丸となってこれからもがんばります。ご期待ください! 散逸している当初の40号をお持ちの方、ぜひご連絡ください。